

令和6年度 信学会上田北幼稚園 「園の自己評価」(まとめ)

I 評価項目の集計

1 自己評価(注意:自園の取り組みをどう評価するか!私自身に対してではなく、園に対しての評価です。)

A…十分達成されていると思う

B…達成されていると思う

C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う D…取り組みが不十分であると思う

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

2 本年度の自園の取り組みについて、特記評価があればご記入ください。

<良いと思われる点>

- ホームページ・動画配信など定期的にたくさん保護者の方に伝えていてよいと思います。
- 野菜を収穫して食べることで、苦手な野菜も食べられる子が増えてきた。園の立地状況(自然の豊かさ)をいかした活動が充実している。
- 庭の花やまわりの果樹園などで四季の変化を感じながら生活できる。
- 今までなかったハロウィンパーティーの行事をふやし、クラスだけでなく異年齢での関わりが今まで以上に増えたので子どもにとってよかった。
- 職員が子どもたちのために協力して遊びや学びのための計画準備や活動ができています。
- 職員間のコミュニケーションが多く相談しやすい。
- 園全体が温かい雰囲気、子どもたちがのびのびやりたい遊びを存分に夢中になっている姿が素敵だと思う。
- 外遊びの時間が多くあってよい。そのため子どもたちの運動能力が高い。

3 信学会上田北幼稚園を更によくするために、改善したい点 新たな取り組みについてご記入ください。

- 園内研修は、活動の参観だけでなく、子ども理解、外遊び、制作などテーマを決めての話し合いもやってみたい。
- 自己研鑽に励みたい。
- なかよし音楽会が自園開催になることから新しい行事の見通しや音楽活動の取り組みについても検討していきたい。
- 2学期の後半に行事が集中してしまうので、活動や制作を工夫したい
- 預かり、副任の職員が増えると多くの仕事をカバーできるので、担任の仕事が軽くなる。

II 考察

1 項目1について

職員が自己評価した記号を平均値して、最もあてはまる記号として記しています。

日頃の園全体の取り組みについて、感じていることを率直に表記していただいていると感じました。

評価Aの部分については、今後も継続していくことが大切であると思います。また、評価Bの項目については、今後改善を加えるとともに日頃の活動や取り組みの状況について情報提供をしっかりとしていくことが大切だと思います。教務会・職員会・研修等の場において職員間の共通理解を常に図っていくようにしたいと思います。

2 項目2について

幼稚園での活動の様子を動画配信、写真配信、おたより配信、HP などにより保護者にきめ細かくお伝えしていることに職員からも高い評価を感じます。今後も子どもたちの活動の様子をきめ細かくお伝えしていくよう心がけたいと思います。また、幼稚園の立地のよさをいかした自然に関わる活動や作物を育て食べる活動に子どもたちの成長を感じている記述が多くありました。園目標「自然と人とあそべ 北っ子」に更に近づけるようにしていきたいと思います。

職員間のコミュニケーション、情報共有、意識共有は、適切に図られており開かれた職場となっていることが伺える。そのことが職員全員が共通意識をもって保育活動を行うことができるとともに職員の働く意欲の向上にも繋がっていると思われます。

3 項目3について

職員が向上心をもって更に幼稚園の活動を充実させていきたいという思いが感じられる記述があり、職員が高い意識で職務にあたっていることが伺えます。今後もよりよい信学会上田北幼稚園になるよう改善を図っていききたいと思います。

III 総括

信学会上田北幼稚園をよりよい幼稚園にするために、1年間の保育・教育活動について職員自身が振り返ることは、とても重要なことだと思います。子どもたちの確かな成長のために職員が意識共有してやりがいを感じながら保育教育活動にあたる働きやすい職場にしていきたいと思います。